

2019年10月10日
京成電鉄株式会社

成田空港アクセスのサービス向上へ 新形式車両 3100形 デビュー!! 10月26日(土) 営業運転開始予定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、10月26日(土)のダイヤ改正に合わせて新形式車両3100形を成田スカイアクセスで、営業運転開始する予定です。

この車両は京成グループ標準車両として「受け継ぐ伝統と新たな価値の創造」をコンセプトに設計したものです。

外観デザインでは、成田スカイアクセスの案内カラーであるオレンジを取り入れたほか、飛行機や沿線各所のイメージイラストを車体に描きました。車内設備では、当社として初めてスーツケース置場としてもご利用いただけるよう座席の一部を折り畳み式としたほか、フリースペース、防犯カメラ、プラズマクラスターイオン発生装置などを導入し、快適な車内環境を提供します。上記以外の詳細な仕様に加え、製造工程、製作者へのインタビュー記事を掲載した特設ホームページ(http://www.keisei.co.jp/keisei/special_3100/vehicle/)もございますので、こちらをご覧ください。

なお、主にアクセス特急として運用している3000形7次車(3050形)をダイヤ改正後より、順次オレンジを基調としたデザインに変更し、誤乗車防止に努めて参ります。

以上



スーツケース置場



フリースペース

※ プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmacluster はシャープ株式会社の登録商標です。